

様式第6号

宮崎市地域コミュニティ活動交付金実績報告書

令和5年 4月20日

宮崎市長 清山 知憲 殿

主たる事務所の所在地 宮崎市鶴島2丁目18番23号
名 称 小戸まちづくり推進委員会
代表者の氏名 会長 西山 久介
電 話 番 号 71 - 4583

令和4年3月31日付けで交付決定のありました宮崎市地域コミュニティ活動交付金については、宮崎市地域コミュニティ活動交付金に関する規則第19条第1項の規定により、関係書類を添えて実績報告書を提出します。

添付書類

(イ) 事業実施報告・収支決算(見込)書

(ロ) 事業別収支計算書

(ハ) 積立金管理状況報告書

(ニ) その他

宮崎市地域コミュニティ活動交付金繰越届出書、備品管理台帳写し

(様式第5号)

令和4年度 事業実施報告・収支決算書

小戸地域自治区
小戸まちづくり推進委員会

1 総括

今年度は、必要な感染症対策や開催方法を工夫することで多くの事業を実施することができた。その中で、まちづくりビジョンの基本目標にあるふれあいのあるまちという観点から、小戸地区ふれあい会食会や小戸地区大運動会などの事業を行うことができて良かった。

2 収支決算

(1) 収入の部

(単位:円)

項目	予算	決算	差	備考
地域コミュニティ活動交付金	2,619,283	2,619,283	0	
社会福祉協議会補助金	500,000	500,000	0	基本事業費補助:30万 活動実践事業費補助:20万
繰越金	1,004,717	1,004,717	0	
参加者負担金	120,000	94,400	25,600	
災害積立基金	1,449,000	1,449,000	0	
合計	5,693,000	5,667,400	25,600	

(2) 支出の部

分野	事業名	実施年数	予算	決算	差	備考
防	防災訓練事業	14年目	250,000	194,602	55,398	
防	交通安全見守り事業	11年目	69,000	57,832	11,168	
防	防災倉庫整備事業	11年目	455,000	352,160	102,840	
防	災害積立基金活用事業	2年目	1,449,000	1,242,835	206,165	差額206,165円は災害積立基金口座に戻入
福	情報交換会事業	12年目	250,000	194,614	55,386	
福	ふれあい会食会事業	14年目	290,000	167,703	122,297	
福	グラウンドゴルフ大会事業	9年目	25,000	10,489	14,511	
福	地域福祉推進事業	8年目	35,000	6,866	28,134	
福	子育て支援事業	8年目	140,000	102,288	37,712	
環	花のまちづくり事業	14年目	160,000	160,155	155	
再	ボランティア育成事業	10年目	70,000	15,204	54,796	
健	小戸地区大運動会事業	9年目	550,000	237,428	312,572	
健	体育会との連携事業	13年目	90,000	20,016	69,984	
健	歩こう会事業	2年目	90,000	15,000	75,000	
伝	しめ縄飾り体験事業	13年目	140,000	101,990	38,010	
教	小戸小との連携事業	11年目	130,000	13,450	116,550	
他	まちづくり広報事業	12年目	400,000	347,160	52,840	
他	まちづくり活動支援事業	11年目	1,100,000	953,882	146,118	
	繰越金		0	1,267,561	1,267,561	
	合計		5,693,000	5,667,400	25,600	

繰越金は(収入計5,667,400円) - (事業費計4,193,674円) - (災害積立基金戻入206,165円)

3 実施報告

[1] 防犯・防災に係る事業

事業名	防災訓練事業	実施年数	14年目																						
事業期間	開始：平成21年度	終了：なし																							
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 1. 安心安全に暮らせるまち 防災力の向上に努めます。																								
目的 (期待される効果)	住民の防災意識の高揚を図り、地域住民同士のきずなを深めるとともに地域の人材育成と確保につなげる。																								
事業内容・手段	<p>(1) 防災訓練の実施 会場 上水流街区公園 実施日 9月4日(日) 内容 西高松自治会との合同防災訓練 台風14号接近のため中止。 代替の防災訓練を以下のとおり実施。 会場 小戸地域多目的ホール(鶴島2丁目) 実施日 12月11日(日) 内容 救命救急講習(AED体験)、備品の展示等</p> <p>(2) 防災研修会の実施 会場 小戸地域開放ふれあい会議室 実施日 6月22日(水) 内容 防災まちづくり 宮崎市の出前講座を活用</p> <p>(3) まちづくり(地区社協)災害時緊急連絡体制網の作成 災害情報報告要領を作成。</p>																								
事業費	194,602円																								
対象者	地域住民、まち推委員(自治会長、民生委員児童委員、福祉協力員)																								
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">令和4年度</th> <th colspan="2">令和3年度</th> </tr> <tr> <th>研修会</th> <th>訓練</th> <th>勉強会</th> <th>訓練</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>37人</td> <td>23人</td> <td>0人</td> <td rowspan="3">中止</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>4人</td> <td>9人</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>41人</td> <td>32人</td> <td>13人</td> </tr> </tbody> </table> <p>事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年度	令和4年度		令和3年度		研修会	訓練	勉強会	訓練	一般参加者	37人	23人	0人	中止	スタッフ	4人	9人	13人	合計	41人	32人	13人
年度	令和4年度		令和3年度																						
	研修会	訓練	勉強会	訓練																					
一般参加者	37人	23人	0人	中止																					
スタッフ	4人	9人	13人																						
合計	41人	32人	13人																						
住民の声(アンケートの結果等)	<p>防災研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分が住んでいる地域のリスクが分かりました。 常日頃から家族と連絡方法や避難場所を話し合っておく必要がある。 <p>防災訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> AEDの操作方法がよく分かりました。 水や食料だけではなく、スマートフォンのバッテリーや常備薬などを準備しておく必要がある。 																								

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	B	B	事業実施時にアンケートを取り集計し、年齢別、自治会別、要望等を取りまとめ、部会で検討している。	広報	事業の周知	B		自治会加入者世帯へチラシの班回覧を実施した。各自治会の掲示板を活用した。
	住民の参加	B		今回の訓練の内容からすると、目標人数は達成したと思われる。若い世代の参加が望まれる。		事業の効果	課題解決への作用	B	B
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	B	B	小戸地区の地理的条件を考慮して計画しているが、今後は、高齢者や障がい者の避難支援に対応する内容も検討したい。	事業の必要性		住民の満足度	B	
	各種団体との連携	A	B	各自治会、民生委員、福祉協力員、小戸地区内の防災士の参加がある。		事業継続の必要性			☑ ・ 無
良かった点・改善点等	<p><良かった点や改善した点等></p> <p>当初の計画からは一部変更となったが、A E Dの操作体験や資機材の操作訓練等を実施でき、有意義な防災訓練であった。</p>								
地域協議会からの意見への対応	<p><地域協議会からの意見（令和 年 月・令和 年度）></p> <p><意見への対応></p>						対応	未・済	
	<p><地域協議会からの意見（令和 年 月・令和 年度）></p> <p><意見への対応></p>						対応	未・済	

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会が出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

(様式第6号)

事業別収支計算書

小戸地域自治区
小戸まちづくり推進委員会

事業名	防災訓練事業
-----	--------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	104,602	(基礎交付金)
2	社会福祉協議会補助金	40,000	地域福祉基本事業費補助 災害に備えた支援体制の整備
3	繰越金	50,000	
4	参加者負担金	0	
5	合計(A)	194,602	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	160,212	消耗品費 114,847 円 ・ 用紙 3,304 ・ 防災啓発品(LED懐中電灯) 22,308 ・ 備蓄用おにぎり、うどん、乾燥米飯 89,235 食糧費 2,040 円 ・ 研修会参加者お茶85円×24本 2,040 会議費<社協対応> 7,245 円 ・ 研修会参加者茶菓子 7,245 印刷製本費 36,080 円 ・ 用紙印刷 36,080
5	役務費	34,390	通信運搬費 12,860 円 ・ 研修会案内文書、アンケート返信用切手等 12,860 保険料 21,530 円 ・ 訓練参加者保険170人分(手数料込) 21,530
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計(B)	194,602	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

事業名	交通安全見守り事業	実施年数	11年目																						
事業期間	開始：平成24年度	終了：なし																							
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 1. 安心安全に暮らせるまち 子どもや高齢者の見守りに取り組みます。 2. ふれあいのあるまち 元気にあいさつします。																								
目的 (期待される効果)	登下校時の子どもの見守り活動を行い、安全・安心なまちづくりを目指す。																								
事業内容・手段	(1) 交通安全見守り活動 登校時の見守り活動の実施 活動場所 小戸小付近の4交差点 実施時期 4月～翌3月 毎週月曜日(その限りではない)7:00～8:00頃 内 容 児童の見守りおよびあいさつ・声かけ 活動ツールの配布 内 容 スタッフベスト(夏季用)の作製 (2) 見守りボランティア募集のチラシ配布 (3) 交通見守り研修会の実施 会 場 小戸地域開放ふれあい会議室 実施日 6月22日(水) 内 容 自転車に乗る際のルールについて 宮崎市の出前講座を活用 (4) 交通安全見守り隊と児童との対面式 会 場 小戸小学校体育館 実施日 6月頃 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。 活動内容の写真等を用いて、活動者の紹介のみしてもらった。 (5) 交通見守り座談会の実施 会 場 小戸地域開放ふれあい会議室 実施日 1月24日(火) 内 容 ボランティア(活動協力者)で意見交換を実施																								
事業費	57,832円																								
対象者	地域住民、まち推委員(自治会長、民生委員児童委員、福祉協力員)																								
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年 度</th> <th colspan="2">令和4年度</th> <th colspan="2">令和3年度</th> </tr> <tr> <th>研修会</th> <th>見守り活動</th> <th>研修会</th> <th>見守り活動</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>28名</td> <td>4人</td> <td rowspan="3">なし</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>4名</td> <td>21人</td> <td>22人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>32名</td> <td>25人</td> <td>26人</td> </tr> </tbody> </table> <p>事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和4年度		令和3年度		研修会	見守り活動	研修会	見守り活動	一般参加者	28名	4人	なし	4人	スタッフ	4名	21人	22人	合 計	32名	25人	26人
年 度	令和4年度		令和3年度																						
	研修会	見守り活動	研修会	見守り活動																					
一般参加者	28名	4人	なし	4人																					
スタッフ	4名	21人		22人																					
合 計	32名	25人		26人																					
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも子ども達の笑顔に元気をもらっている。 ・児童の見守りをするのが、生活の張り合いになっている。 ・活動ツール(メッシュのベスト、帽子)など、その季節にあったものを準備してもらって助かります。 ・児童も活動者も、無事故で1年を終えられてよかった。 																								

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度				本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	A	例年、小学校での地域の見守りに感謝する集いがあり、「これからも見守ってほしい」との声がある。	広報	事業の周知	A	A	自治会配布チラシ等に加えて、まちづくりのSNSを活用した呼掛けを行っている。	
	住民の参加	C	C	登校時の見守りは、参加ボランティアを募って実施している。研修会は見守りボランティアの方、民生委員、福祉協力員の参加がある。		事業の効果	課題解決への作用	B	B	見守り活動開始以後、児童の登校時の事故は発生しておらず、安全に活動できている。
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	地域の、特に子供たちの安心安全のための事業として必要である。	事業の必要度		住民の満足度	A	A	小学校、保護者からは評価を得ている。
	各種団体との連携	B	B	主に民生委員、公募での活動としているが、ギリギリの人数で行っているため、各種団体へさらなる声掛けをし、協力者を募りたい。		事業継続の必要性		☑ ・ 無		
良かった点・改善点等		< 良かった点や改善した点等 > 活動参加者が減少傾向にあるので、自治会配布チラシ等に加えて、まちづくりのSNSを活用した呼掛けを行い、協力者を募りたい。								
地域協議会からの意見への対応	< 地域協議会からの意見（令和 年 月・令和 年度 ） >						対応		未 ・ 済	
	< 意見への対応 >						対応		未 ・ 済	
地域協議会からの意見への対応	< 地域協議会からの意見（令和 年 月・令和 年度 ） >						対応		未 ・ 済	
	< 意見への対応 >						対応		未 ・ 済	

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

(様式第6号)

事業別収支計算書

小戸地域自治区
小戸まちづくり推進委員会

事業名	交通安全見守り事業
-----	-----------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	0	(基礎交付金)
2	社会福祉協議会補助金	20,000	地域福祉基本事業費補助 地域ボランティアの育成
3	繰越金	37,832	
4	参加者負担金	0	
5	合計(A)	57,832	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	35,853	消耗品費 26,510 円 ・メッシュスト(活動ツールとして)10枚 26,510 食糧費 4,800 円 ・研修会参加者用お茶@63円×48本 3,024 ・意見交換会参加者お茶@74円×24本 1,776 印刷製本費 480 円 ・研修会用横断幕 480 会議費<社協対応> 4,063 円 ・意見交換会用茶菓子 4,063
5	役務費	21,979	通信運搬費 20,159 円 ・研修会案内文書、当番表等送付 20,159 保険料 1,820 円 ・研修会参加者保険40人分 1,120 ・意見交換会参加者保険25人分 700
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計(B)	57,832	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

事業名	防災倉庫整備事業	実施年数	11年目												
事業期間	開始：平成24年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>基本目標</p> <p>1. 安心安全に暮らせるまち 防災力の向上に努めます。</p>														
目的 (期待される効果)	<p>災害時に必要となる食糧、飲料水、救助用資機材等を購入する。 地域住民に防災倉庫の周知をする。</p>														
事業内容・手段	<p>(1) 災害備蓄品の購入 倉庫場所 小戸小学校南校舎3階の1室(空き教室) 小戸小学校体育館南側 実施時期 4月～翌3月 内 容 防災備蓄食(入れ替え)、灯油缶詰、ガソリン缶詰、 救急箱セット等</p> <p>(2) 災害備蓄品の管理・入れ替え 使用期限のあるもの(救急セット)を入れ替え 賞味期限間近の飲料水・食糧等 地域内で消費 ・事業(行事)の参加者に配布：防災訓練、大運動会 等 ・委員、ボランティアに配布：部会員、小戸ちぼら (子育てサロン、傾聴ボランティア) 備蓄品に関するアンケート調査の実施 女性の部会員、子育てサロンの参加者に備蓄品についてうかがった。 今後の備蓄品購入の参考にする。</p>														
事業費	352,160円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和4年度	令和3年度	一般参加者			スタッフ			合 計		
年 度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者															
スタッフ															
合 計															
住民の声(アンケートの結果等)	<p>・食糧やスープ等、賞味(消費)期限が近付いている備蓄品は、防災訓練や小戸地区大運動会等で参加者へ配布し有効活用した。 備蓄品に関するアンケート ・女性向けの生理用品や子供向けのミルクやおむつがあると助かります。 ・プライバシーを確保できるスペースが欲しい。</p>														

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度				本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	A	食糧やスープ等の入れ替えだけではなく、部会でコロナ禍で必要なものを検討して購入した。	広報	事業の周知	B	B	今年度の事業で購入したものを防災訓練の際に展示し広報に努めた。	
	住民の参加					事業の効果	課題解決への作用			
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	自治会の資機材の備蓄状況を踏まえて、自治会単位では購入が困難な資機材を購入し、地域の防災の取組に活用している。			住民の満足度			
	各種団体との連携				事業継続の必要性		☑ ・ 無			
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> 女性部会員と子育てサロンに参加しているお母さんたちに実施した備蓄品に関するアンケート調査の結果を来年度の備蓄品購入の参考にする。								
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見(令和 年 月・令和 年度)>					対応		未・済	
		<意見への対応>								
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見(令和 年 月・令和 年度)>					対応		未・済	
		<意見への対応>								

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

(様式第6号)

事業別収支計算書

小戸地域自治区
小戸まちづくり推進委員会

事業名	防災倉庫整備事業
-----	----------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	192,160	(基礎交付金)
2	社会福祉協議会補助金	0	
3	繰越金	160,000	
4	参加者負担金	0	
5	合計(A)	352,160	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	162,692	消耗品費 162,692 円 ・ガソリン缶詰、灯油缶詰等 51,480 ・備蓄用トイレパン 79,412 ・備蓄用味噌汁、スープ等 29,490 ・短冊形標識(火気厳禁) 2,310
5	役務費		
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費	189,468	備品購入費 189,468 円 ・クワライト用充電器1組 57,442 ・クワライト用バッテリー2個 42,944 ・屋外用コードリール2台 24,024 ・アルミ踏台1台 18,392 ・台車1台 16,306 ・救急箱セット(20人用) 30,360
11	積立金		
12	合計(B)	352,160	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

事業名	災害積立基金活用事業	実施年数	2年目												
事業期間	開始：令和3年度	終了：令和6年度													
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 1. 安心安全に暮らせるまち 防災力の向上に努めます。														
目的 (期待される効果)	令和元年度に目標額に達した災害積立基金を活用して、災害時の小戸地区指定避難所に必要な備品を計画的に購入し、避難所の環境を整備する。														
事業内容・手段	(1) 基金の活用(取り崩し) 備品を整備 場 所 小戸小学校南校舎3階の1室(空き教室) 小戸小学校体育館南側 実施時期 4月～翌3月 内 容 業務用暖房機、大型扇風機、発電機、避難所用照明、ポータブル電源、ソーラーパネル														
事業費	1,242,835円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 事業内容に応じて男女別や年代別データ			年 度	令和4年度	令和3年度	一般参加者			スタッフ			合 計		
年 度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者															
スタッフ															
合 計															
住民の声(アンケートの結果等)															

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	B	B	防災倉庫を設置し、必要な資機材を備えて地域の防災の取組に活用していく。	広報	事業の周知	B	C	今後まち推だよりなどを通じて、まちづくりの防災倉庫や備蓄品について周知を図りたい。
	住民の参加					事業の効果	課題解決への作用		
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	自治会単位では購入が困難な資機材を購入し、指定避難所の機能強化を図る。			住民の満足度		
	各種団体との連携	B	B	災害に強いまちづくりを目指して、各種団体と連携を取って行っていく。	事業継続の必要性				☑ ・ 無
良かった点・改善点等		<p><良かった点や改善した点等></p> <p>部会で指定避難所で求められる資機材や備蓄品を選定し購入した。市学校施設課、小戸小等との間で連絡を取り合い、備品が安全・円滑に活用できるよう努めた。</p>							
地域協議会からの意見への対応		<p><地域協議会からの意見（令和4年3月・令和4年度事業計画）></p> <p>市学校施設課、小戸小等と連絡・調整しながら、安全・円滑に備品が活用できるよう努めてください。</p> <p><意見への対応></p> <p>市学校施設課、小戸小等とまちづくりの間で連絡を取り合い、安全・円滑に備品が活用できるよう努めた。</p>					対応	未	☑
		<p><地域協議会からの意見（令和 年 月・令和 年度）></p> <p><意見への対応></p>					対応	未	済

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

(様式第6号)

事業別収支計算書

小戸地域自治区
小戸まちづくり推進委員会

事業名	災害積立基金活用事業
-----	------------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	0	(基礎交付金)
2	社会福祉協議会補助金	0	
3	繰越金	0	
4	参加者負担金	0	
5	災害積立基金	1,242,835	災害積立基金1,449,000円(今年度予算)中
6	合計(A)	1,242,835	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費		
5	役務費		
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費	1,242,835	備品購入費 1,242,835 円 ・暖房機4台 + 安全柵セット4組 745,140 ・扇風機4台 183,700 ・発電機 121,550 ・災害用バッテリー 71,500 ・ソーラーパネル 45,265 ・充電式クワイト2台 75,680
11	積立金		
12	合計(B)	1,242,835	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

[2] 地域福祉に係る事業

事業名	情報交換会事業	実施年数	12年目																										
事業期間	開始：平成23年度	終了：なし																											
地域魅力発信プランとの関連	<p>基本目標</p> <p>1. 安心安全に暮らせるまち 地域全体で要配慮者の支援を考えます。 子どもや高齢者の見守りに取り組みます。</p> <p>3. 地域力のあるまち 自治会活動を地域全体にアピールします。</p>																												
目的 (期待される効果)	自治会、民児協、福祉協力員で情報を交換し、要支援者の実態把握を行うとともに、見守り・支援方法を検討し、情報を共有する。																												
事業内容・手段	<p>(1) 地区(自治会単位)情報交換会の推進 会場 各自治会公民館 等 実施時期 4月～翌3月 実施地区 西高松(5/26、2/10)、上野町(6/2)、大工(7/10、2/19)、鶴島(12/19)、末広町(1/28)、末元(2/6) 参加対象 自治会役員、民生委員児童委員、福祉協力員、地縁団体まち推福祉部会部会員 等</p> <p>(2) 視察研修会の実施 内 容 社会的擁護に関する講演会 子ども食堂畑の見学 実施日 9月23日(金・祝)</p> <p>(3) 福祉協力員研修会の実施 会場 小戸地域開放ふれあい会議室 実施日 6月1日(水) 内 容 福祉協力員について 地域包括支援センター について</p>																												
事業費	194,614円																												
対象者	まち推委員(自治会長、民生委員児童委員、福祉協力員)																												
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年 度</th> <th colspan="3">令和4年度</th> <th colspan="3">令和3年度</th> </tr> <tr> <th>地区情報交換会</th> <th>視察</th> <th>研修&座談会</th> <th>地区情報交換会</th> <th>視察</th> <th>研修&座談会</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td rowspan="3">6地区 (8回)</td> <td>26人</td> <td>34人</td> <td rowspan="3">1地区 (1回)</td> <td rowspan="3">なし</td> <td rowspan="3">なし</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>3人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>29人</td> <td>39人</td> </tr> </tbody> </table> <p>事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和4年度			令和3年度			地区情報交換会	視察	研修&座談会	地区情報交換会	視察	研修&座談会	一般参加者	6地区 (8回)	26人	34人	1地区 (1回)	なし	なし	スタッフ	3人	5人	合計	29人	39人
年 度	令和4年度				令和3年度																								
	地区情報交換会	視察	研修&座談会	地区情報交換会	視察	研修&座談会																							
一般参加者	6地区 (8回)	26人	34人	1地区 (1回)	なし	なし																							
スタッフ		3人	5人																										
合計		29人	39人																										
住民の声(アンケートの結果等)	<p>視察研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立援助ホームにおける子どもたちの生活の様子が分かった。 ・子ども食堂への野菜の支援はありがたいです。 <p>地区情報交換会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会、民生委員、福祉協力員との間で、見守り対象者の情報をどこまで共有できるのか分からない。 ・高齢者や障がい者の避難支援は支援者が見つからず課題がある。 																												

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	B	B	事務局職員が出席し、各自治会の地区情報交換会の実施状況を把握した。	広報	事業の周知	A	B	各自治会へ文書(お願い)郵送。視察研修会等は自治会長、民生委員、福祉協力員等へ個別に案内を郵送した。
	住民の参加	B	B	地区情報交換会は、各自治会で差がある。視察研修会は、民生委員、福祉協力員、自治会長等の多くの参加がある。		事業の効果	課題解決への作用	B	B
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	見守り対象者の増加に合わせて、今後も各自治会への情報交換会実施のお願い文書の発送、呼び掛けが必要である。	事業の必要性		住民の満足度	B	B
	各種団体との連携	B	B	今後も市社協・地域包括支援センターと連携し、情報の共有や見守り・支援方法の検討に努める。		事業継続の必要性			☑ ・ 無
良かった点・改善点等		<p><良かった点や改善した点等> 視察研修会は、個人の視野を広げたり、社会的養護について学ぶことが出来たのではないと思われる。</p>							
地域協議会からの意見への対応		<p><地域協議会からの意見(令和 年 月・令和 年度)></p>				対応		未・済	
		<p><意見への対応></p>						未・済	
地域協議会からの意見への対応		<p><地域協議会からの意見(令和 年 月・令和 年度)></p>				対応		未・済	
		<p><意見への対応></p>						未・済	

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

(様式第6号)

事業別収支計算書

小戸地域自治区

小戸まちづくり推進委員会

事業名	情報交換会事業
-----	---------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	50,114	(基礎交付金)
2	社会福祉協議会補助金	80,000	※地域福祉基本事業費補助 見守りネットワーク活動の推進
3	繰越金	50,000	
4	参加者負担金	14,500	視察研修会昼食弁当@500円×29人分
5	合計 (A)	194,614	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費	12,000	講師謝礼 <u>12,000</u> 円 ・視察研修会講師謝礼@3,000円×2h×2人 12,000
3	旅費		
4	需用費	61,916	消耗品費 <u>2,904</u> 円 ・地区情報交換会消耗品費 2,904 食糧費 <u>37,918</u> 円 ・福祉協力員研修会参加者用お茶48本 3,024 ・視察研修会参加者用お茶36本 2,664 ・視察研修会昼食弁当29人分 32,230 印刷製本費 <u>480</u> 円 ・福祉協力員研修会用横断幕 480 会議費<社協対応> <u>20,614</u> 円 ・地区情報交換会会議費 20,614
5	役務費	36,438	通信運搬費 <u>21,168</u> 円 ・福祉協力員研修会、視察研修会案内文書等 21,168 保険料 <u>15,270</u> 円 ・福祉協力員活動保険37人(次年度分) 12,950 ・福祉協力員研修会参加者保険40人分(手数料込) 1,230 ・視察研修会参加者保険35人分 1,090
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	84,260	使用料及び賃借料 <u>84,260</u> 円 ・視察研修会大型バス借り上げ 84,260
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計 (B)	194,614	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

事業名	ふれあい会食会事業	実施年数	14年目															
事業期間	開始：平成21年度	終了：なし																
地域魅力発信プランとの関連	<p>基本目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 安心安全に暮らせるまち 子どもや高齢者の見守りに取り組みます。 2. ふれあいのあるまち 地域資源を活用した事業を考えます。 3. 地域力のあるまち 自治会活動を地域全体にアピールします。 																	
目的 (期待される効果)	健康運動やレクリエーション等を付加した会食会を開催することにより、高齢者の生きがいづくりや引きこもり防止を図る。																	
事業内容・手段	<p>(1) 地区(自治会単位)ふれあい会食会の推進</p> <p>会場 自治公民館、福祉施設の一室、マンション集会場 等</p> <p>実施時期 4月～翌3月</p> <p>内容 血圧測定、健康講話、健康体操、ゲーム、会食 等</p> <p>実施地区 末元(9/21、12/21、3/19)、 鶴島(11/18、1/20、3/18)、 西高松(2/19)</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、以下の分は中止。 末元(5/18)、鶴島(5/20、7/15)、大工(5月、11月)、西高松(9/11)、鶴島団地自治会(9月)、末広町(12月)</p> <p>(2) 小戸地区(全体)ふれあい会食会の実施</p> <p>会場 小戸小学校第1理科室</p> <p>実施日 10月16日(日)</p> <p>内容 健康講話、健康体操、レクリエーション、会食 等</p>																	
事業費	167,703円																	
対象者	地域住民																	
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>3自治会(7回) 小戸地区(1回)</td> <td>3自治会(4回) 小戸地区(なし)</td> </tr> <tr> <td>一般参加者</td> <td>延べ 156人</td> <td>延べ 68人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>延べ 83人</td> <td>延べ 39人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>延べ 239人</td> <td>延べ107人</td> </tr> </tbody> </table> <p>事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年度	令和4年度	令和3年度		3自治会(7回) 小戸地区(1回)	3自治会(4回) 小戸地区(なし)	一般参加者	延べ 156人	延べ 68人	スタッフ	延べ 83人	延べ 39人	合計	延べ 239人	延べ107人
年度	令和4年度	令和3年度																
	3自治会(7回) 小戸地区(1回)	3自治会(4回) 小戸地区(なし)																
一般参加者	延べ 156人	延べ 68人																
スタッフ	延べ 83人	延べ 39人																
合計	延べ 239人	延べ107人																
住民の声(アンケートの結果等)	<p>地区ふれあい会食会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段通りに外出したり集まって食事をするのが困難な状況の中、会食会に参加することを通じて、地域の皆さんと交流を持ちたい。 ・音楽に合わせて、皆さんと一緒に手や体を動かして楽しかった。 <p>小戸地区(全体)ふれあい会食会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひらがな太極拳は初めて体験しましたが楽しかったです。 ・もう少し参加者が多いと良かったと思う。 																	

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	A	事業実施時にアンケートを行い、次年度の参考に使っている。	広報	事業の周知	B	B	自治会加入者世帯へチラシの各戸配布を実施している。各自治会の掲示板を活用している。
	住民の参加	B	B	小戸地区会食会をコロナ禍で3年ぶりに実施したが、同じ方々が多く、広がりがあまりなかった。地区会食会も同じ傾向である。		事業の効果	課題解決への作用	B	B
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	小戸地区会食会と地区会食会ともに、それぞれ趣向を凝らし、参加者にも喜ばれた。	事業の効果		住民の満足度	A	A
	各種団体との連携	A	A	小戸地区内の医療センター病院、地域包括支援センターの協力のもと、実施することができた。		事業継続の必要性		☑ ・ 無	
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> 普段通りに外出したり集まって食事をするのが制限される状況の中、会食会に参加することを通じて、地域の方々が交流を持つことができた。							
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・令和 年度）>						対応	未・済	
	<意見への対応>							対応	未・済
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・令和 年度）>						対応		未・済
	<意見への対応>							対応	未・済

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

(様式第6号)

事業別収支計算書

小戸地域自治区
小戸まちづくり推進委員会

事業名	ふれあい会食会事業
-----	-----------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	33,303	(基礎交付金)
2	社会福祉協議会補助金	60,000	地域福祉基本事業費補助 孤立化防止活動の推進
3	繰越金	50,000	
4	参加者負担金	24,400	地区ふれあい会食会(7回分)@200円×97人分 全体ふれあい会食会(1回分)@200円×25人分
5	合計(A)	167,703	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費	12,000	講師謝礼 12,000 円 ・地区会食会講師謝礼@3,000円×1回 3,000 ・全体会食会講師謝礼@3,000円×3人 9,000
3	旅費		
4	需用費	152,973	消耗品費 3,004 円 ・地区会食会 衛生用品等 3,004 食糧費 91,758 円 ・地区会食会(6回分) 弁当、お茶等 74,148 ・全体会食会(1回分) 弁当、お茶等 17,610 印刷製本費 51,823 円 ・ﾌﾗﾝｼﾞ印刷等 51,823 賄材料費 6,388 円 ・地区会食会(6回分) 食材 6,388
5	役務費	2,730	通信運搬費 1,890 円 ・全体会食会受講票(ﾌﾗﾝｼﾞ) 1,890 保険料 840 円 ・全体会食会参加者保険30人分 840
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計(B)	167,703	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

事業名	グラウンドゴルフ大会事業	実施年数	9年目										
事業期間	開始：平成26年度	終了：なし											
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 2. ふれあいのあるまち 三世代の交流を進めます。 地域資源を活用した事業を考えます。												
目的 (期待される効果)	住民同士のコミュニケーションの場とし、高齢者の生きがいづくりや引きこもり防止を図る。												
事業内容・手段	(1) 小戸地区グラウンドゴルフ大会の実施 会場 大淀川河川敷 親水公園(せせらぎ水路周辺) 実施日 10月8日(土) 内容 河川敷に2コース(各8ホール)設置 4~5人組のチーム戦 上位3チームと個人に賞品を授与 上位2チームは市大会への出場権あり												
事業費	10,489円												
対象者	地域住民												
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>20人</td> <td rowspan="3">中止</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>23人</td> </tr> </tbody> </table> <p>事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	20人	中止	スタッフ	3人	合計	23人
年度	令和4年度	令和3年度											
一般参加者	20人	中止											
スタッフ	3人												
合計	23人												
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・こんなに楽しいイベントなのに、参加者が少ないのは残念です。 ・もう少し広報を強化してはどうか。 												

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	B		事業実施時にアンケートを行っている。	広報	事業の周知	A		各自治会での回覧を利用して、チラシの各戸配布を行っている。
	住民の参加	B		例年同じ方々の参加になっている。		事業の効果	課題解決への作用	A	
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A		例年楽しみにしている参加者もあり、閉じこもり防止、適度な運動で体力維持に繋がっている。	事業の必要		住民の満足度	B	
	各種団体との連携	B		民生委員の方々の参加、協力がある。		事業継続の必要性		☑ ・ 無	
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> 今年度は天候にも恵まれ実施できて良かった。 当日準備となったが、参加者の方々の協力があり実施できた。							
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・令和 年度）>						対応		未・済
	<意見への対応>						対応		未・済
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・令和 年度）>						対応		未・済
	<意見への対応>						対応		未・済

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

(様式第6号)

事業別収支計算書

小戸地域自治区
小戸まちづくり推進委員会

事業名	グラウンドゴルフ大会事業
-----	--------------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	489	(基礎交付金)
2	社会福祉協議会補助金	10,000	地域福祉基本事業費補助 孤立化防止活動の推進
3	繰越金	0	
4	参加者負担金	0	
5	合計(A)	10,489	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	9,369	消耗品費 7,593 円 ・大会参加者景品等 7,593 食糧費 1,776 円 ・大会参加者用お茶@74円×24本 1,776
5	役務費	1,120	保険料 1,120 円 ・大会参加者保険40人分 1,120
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計(B)	10,489	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

事業名	地域福祉推進事業	実施年数	8年目															
事業期間	開始：平成27年度	終了：なし																
地域魅力発信プランとの関連	<p>基本目標</p> <p>1. 安心安全に暮らせるまち 地域全体で要配慮者の支援を考えます。</p> <p>2. ふれあいのあるまち 地域資源を活用した事業を考えます。</p>																	
目的 (期待される効果)	地域福祉活動の充実、地域性やスキルを活かしながら課題解決を目指す取組を行う。																	
事業内容・手段	<p>(1) アンケート調査結果の分析 福祉のニーズや課題を把握する。</p> <p>(2) 福祉座談会の実施</p> <p>会場 未定 実施日 未定 内容 まち推(地区社協)関係者と、地域住民、地縁団体、地域内の福祉施設との福祉座談会を行う。 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。 代替の事業を以下のとおり実施。</p> <p>会場 スタンドかすみ(中央通) 実施日 1月～3月までの第3水曜日 内容 音楽サロンを包括と協力して試験的に実施。</p>																	
事業費	6,866円																	
対象者	地域住民、まち推委員(自治会長、民生委員児童委員、福祉協力員)、地縁団体、福祉施設																	
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>サロンの実施</td> <td>アンケート調査の実施</td> </tr> <tr> <td>一般参加者</td> <td>延べ 10人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>延べ 15人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>延べ 25人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年度	令和4年度	令和3年度		サロンの実施	アンケート調査の実施	一般参加者	延べ 10人		スタッフ	延べ 15人		合計	延べ 25人	
年度	令和4年度	令和3年度																
	サロンの実施	アンケート調査の実施																
一般参加者	延べ 10人																	
スタッフ	延べ 15人																	
合計	延べ 25人																	
住民の声(アンケートの結果等)																		

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	A	アンケート調査結果を分析し、地域で生活されている高齢者の現状と課題を把握した。	広報	事業の周知	A	B	部会及び役員会にてアンケート調査結果を検討し意見交換を行った。
	住民の参加						事業の効果	課題解決への作用	
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	地域で生活されている高齢者の現状と課題を把握することができた。		住民の満足度			
	各種団体との連携	A	B	アンケート調査結果を市社協・地域包括支援センターの協力のもと分析することができた。	事業継続の必要性				有 ・ 無
良かった点・改善点等		<p><良かった点や改善した点等></p> <p>地域で生活されている高齢者の現状と課題を把握し、新たな事業の立ち上げやこれまでの事業の見直しを行うことができた。</p>							
地域協議会からの意見への対応		<p><地域協議会からの意見（令和4年3月・令和4年度事業計画）></p> <p>令和3年度に実施した日常生活に関するアンケート調査結果を今後活用するとともに、福祉座談会の開催ではより地域の情報収集に努めてください。</p> <p><意見への対応></p> <p>地域福祉部会の中でアンケート調査結果に関する意見交換と地域資源の情報を共有し、地域課題に対応するため、新たな事業の立ち上げやこれまでの事業の見直しを行った。</p>			対応	未 ・ 済			
		<p><地域協議会からの意見（令和4年3月・令和3年度実施報告）></p> <p>令和3年度に実施した日常生活に関するアンケート調査結果を今後活用し、他地区の事例も参考にし、よりよい事業としてください。</p> <p><意見への対応></p> <p>地域福祉部会の中でアンケート調査結果に関する意見交換と地域資源の情報を共有し、地域課題に対応するため、新たな事業の立ち上げやこれまでの事業の見直しを行った。</p>			対応	未 ・ 済			

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

(様式第6号)

事業別収支計算書

小戸地域自治区
小戸まちづくり推進委員会

事業名	地域福祉推進事業
-----	----------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	0	(基礎交付金)
2	社会福祉協議会補助金	6,866	地域福祉活動実践事業費補助 福祉活動活性化
3	繰越金	0	
4	参加者負担金	0	
5	合計(A)	6,866	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	6,866	消耗品費 6,866 円 ・ 事務用紙 6,866
5	役務費		
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計(B)	6,866	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

事業名	子育て支援事業	実施年数	8年目												
事業期間	開始：平成27年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 1. 安心安全に暮らせるまち 子どもや高齢者の見守りに取り組みます。														
目的 (期待される効果)	子育ての孤立化をなくし、若い親世代が小戸地域で安心して子育てができる環境づくりを支援する。 親同士、支援者との情報交換などの交流や子育てのストレスの解消の場を提供することで、子育て中の親同士、地域住民とのつながりを深め、サポートしあえる関係の構築に繋げていく。														
事業内容・手段	(1) 子育てサロン「なかよし」の実施 会場 鶴島自治公民館 実施日 毎月第2木曜日 10:00～11:30 事前申込不要・参加費無料 公募のボランティアと部会員、および民生委員児童委員等で運営。 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、以下の月は中止。 4月、7月														
事業費	102,288円														
対象者	地域住民(未就学児とその保護者)														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>延べ159人 (親子延べ70組)</td> <td>延べ187人 (親子延べ88組)</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>延べ77人</td> <td>延べ69人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>延べ236人</td> <td>延べ256人</td> </tr> </tbody> </table> <p>事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	延べ159人 (親子延べ70組)	延べ187人 (親子延べ88組)	スタッフ	延べ77人	延べ69人	合計	延べ236人	延べ256人
年度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	延べ159人 (親子延べ70組)	延べ187人 (親子延べ88組)													
スタッフ	延べ77人	延べ69人													
合計	延べ236人	延べ256人													
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・新たにママ友の輪が広がってうれしい。 ・色々なことを相談したり、話したりすることができる。 ・もっと早く参加すれば良かった。 ・子育ての先輩であるスタッフの皆さんや市保健所の母子保健コーディネーターの方々にいろいろなことを話したり、相談することができて心強い。 														

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	B	B	参加者から直接話を聞いたり、スタッフの中には、チラシを持ち歩き、親子連れを見かけたら、配布している。	広報	事業の周知	A	A	自治会回覧時に、各戸配布でチラシを配布している。 また、まちづくりのSNSを活用した情報発信を行っている。
	住民の参加	A	A	毎回参加の親子や、小戸地区外からの参加もある。ボランティアで、民生委員や公募の方々のお手伝いがある。		事業の効果	課題解決への作用	A	B
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	参加者はもちろん、ボランティアの方々にとっても、ふれあいややりがい等を得られる場となっており意味のある事業となっている。	事業の必要性		住民の満足度	A	A
	各種団体との連携	A	A	民生委員にスタッフとして携わって頂いている。市保健所の母子保健コーディネーターの方にも協力いただいている。		事業継続の必要性			☑ ・ 無
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> 新しい親子の参加もあり、コミュニケーションの場の提供ができた。 また、まちづくりのSNSを活用した情報発信を行った。							
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・令和 年度）>								
	<意見への対応>						対応		未・済
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・令和 年度）>								
	<意見への対応>						対応		未・済

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

(様式第6号)

事業別収支計算書

小戸地域自治区
小戸まちづくり推進委員会

事業名	子育て支援事業
-----	---------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	0	(基礎交付金)
2	社会福祉協議会補助金	80,000	※地域福祉基本事業費補助 子育て支援活動の推進
3	繰越金	22,288	
4	参加者負担金	0	
5	合計(A)	102,288	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	54,628	消耗品費 23,986 円 ・チラシ用紙、玩具等 23,986 食糧費 25,837 円 ・茶菓子 25,837 会議費<社協対応> 4,805 円 ・スタッフ反省会茶菓子 4,805
5	役務費	10,470	保険料 10,470 円 ・参加者保険延べ370人(次年度分) 10,470
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	19,700	使用料及び賃借料 19,700 円 ・会場賃借、エアコン使用 19,700
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費	17,490	備品購入費 17,490 円 ・立看板(フレーム、生地プリント)1台 17,490
11	積立金		
12	合計(B)	102,288	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

[3] 環境に係る事業

事業名	花のまちづくり事業	実施年数	14年目																									
事業期間	開始：平成21年度	終了：なし																										
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 2. ふれあいのあるまち 三世代の交流を進めます。																											
目的 (期待される効果)	地域住民の美化活動に対する意識を向上させ、住民同士のコミュニケーションの場とする。																											
事業内容・手段	<p>(1) 花の寄せ植え講習会の実施</p> <p>第1回 会場 小戸地域開放ふれあい会議室 実施日 6月11日(土) 内容 花の寄せ植え講習 プランターへの植栽後、福祉施設等への配布</p> <p>第2回 会場 小戸小学校中庭 実施日 12月3日(土) 内容 花の寄せ植え講習 プランターへの植栽後、福祉施設等への配布</p>																											
事業費	160,155円																											
対象者	地域住民																											
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">令和4年度</th> <th colspan="2">令和3年度</th> </tr> <tr> <th>第1回</th> <th>第2回</th> <th>第1回</th> <th>第2回</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>34人</td> <td>43人</td> <td>35人</td> <td>26人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>14人</td> <td>10人</td> <td>10人</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>48人</td> <td>53人</td> <td>45人</td> <td>37人</td> </tr> </tbody> </table> <p>事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>				年度	令和4年度		令和3年度		第1回	第2回	第1回	第2回	一般参加者	34人	43人	35人	26人	スタッフ	14人	10人	10人	11人	合計	48人	53人	45人	37人
年度	令和4年度		令和3年度																									
	第1回	第2回	第1回	第2回																								
一般参加者	34人	43人	35人	26人																								
スタッフ	14人	10人	10人	11人																								
合計	48人	53人	45人	37人																								
住民の声(アンケートの結果等)	<p>参加者アンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> 花の種類も多く、色とりどりの色合いで、長く楽しめる寄せ植えでうれしい。 講師や同じテーブルの方にやさしく教えてもらえてよかった。 																											

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度				本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	B	B	事業実施時にアンケート調査を行っている。	広報	事業の周知	A	A	自治会回覧時に、各戸配布でチラシを配布している。	
	住民の参加	A	A	会場を2ヶ所に分けての開催であるが、どちらも多くの参加があり、毎年参加の方もいる。		事業の効果	課題解決への作用	B	B	花に親しみ、楽しく参加してもらっているが、同じ方々の参加で、新しい参加者が増えていない傾向にある。
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	B	B	花に親しみ、毎年多くの方に参加してもらっている。	事業の必要性		住民の満足度	A	A	コロナ禍での開催ということで、密になることを心配される方もあったが、屋内での説明等を省いて、安心して参加していただけた。
	各種団体との連携	A	A	今年度も、小戸地区内の福祉施設へプランターの配布を行った。		事業継続の必要性	有 ・ 無			
良かった点・改善点等		<p><良かった点や改善した点等></p> <p>昨年度の参加者アンケートに寄せられた意見を基に、春と秋に分けて開催したことで、寄せ植えの内容も変えることができ参加者にも喜ばれた。</p>								
地域協議会からの意見への対応		<p><地域協議会からの意見（令和 年 月・令和 年度）></p> <p><意見への対応></p>					対応		未・済	
		<p><地域協議会からの意見（令和 年 月・令和 年度）></p> <p><意見への対応></p>					対応		未・済	

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

(様式第6号)

事業別収支計算書

小戸地域自治区
小戸まちづくり推進委員会

事業名	花のまちづくり事業
-----	-----------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	71,655	(基礎交付金)
2	社会福祉協議会補助金	0	
3	繰越金	50,000	
4	参加者負担金	38,500	花の寄せ植え講習会(延べ2回分)@500円×77鉢分
5	合計(A)	160,155	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費	12,000	講師謝礼 <u>12,000</u> 円 ・講師謝礼@6,000円(2人)×2回 12,000
3	旅費		
4	需用費	141,330	消耗品費 <u>141,330</u> 円 ・寄せ植え材料@1,500円×77セット+手数料 116,160 ・施設配布用プリンター・苗@1,000円15セット 15,000 ・チラシ用紙等 10,170
5	役務費	6,825	通信運搬費 <u>4,725</u> 円 ・受講票(ハガキ)、プリンター配布先への文書送付等 4,725 保険料 <u>2,100</u> 円 ・参加者保険75人分 2,100
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計(B)	160,155	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

[4] 地域再生に係る事業

事業名	ボランティア育成事業	実施年数	10年目																						
事業期間	開始：平成25年度	終了：なし																							
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 3. 地域力のあるまち まちづくりを担う人材の発掘と育成に努めます。																								
目的 (期待される効果)	まちづくりに必要なボランティアスタッフを発掘・育成するために、ボランティア募集や研修会を開催する。																								
事業内容・手段	<p>(1) ボランティア募集のチラシ配布 実施時期 4月～翌3月 中止</p> <p>(2) ボランティア研修会の実施 会場 未定 実施日 未定 内容 未定 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。</p> <p>(3) 小戸地区登録ボランティアの活動保険の加入 交通見守り事業 子育て支援事業 その他ボランティア ・部会員 ・自治会長 ・傾聴ボランティア「太陽の会」 民生委員児童委員は民生委員児童委員協議会で保険加入あり 福祉協力員は情報交換会事業で保険加入あり</p>																								
事業費	15,204円																								
対象者	地域住民																								
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">令和4年度</th> <th colspan="2">令和3年度</th> </tr> <tr> <th>ボランティア募集</th> <th>研修会</th> <th>ボランティア募集</th> <th>事例研究の実施</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td></td> <td rowspan="3">中止</td> <td></td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td></td> <td></td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> <td>9人</td> </tr> </tbody> </table> <p>事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年度	令和4年度		令和3年度		ボランティア募集	研修会	ボランティア募集	事例研究の実施	一般参加者		中止		0人	スタッフ			9人	合計			9人
年度	令和4年度		令和3年度																						
	ボランティア募集	研修会	ボランティア募集	事例研究の実施																					
一般参加者		中止		0人																					
スタッフ				9人																					
合計				9人																					
住民の声(アンケートの結果等)																									

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	B	B	ボランティア募集チラシの中に、やりたいこと、要望、内容等記入欄を設けているが、応募自体がなかなかない状況である。	広報	事業の周知	B	B	自治会回覧時に、各戸配布でチラシを配布している。
	住民の参加	B	B	子育てサロン、交通見守り等参加はあるが、各事業において、マンパワーが足りていない。			事業の効果	課題解決への作用	B
効果的・効率的な取り組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	B	B	今年度は、部会の中で他地区の取り組みについて学んだ。	事業の効果	住民の満足度			B
	各種団体との連携						事業継続の必要性		有 ・ 無
良かった点・改善点等		<p><良かった点や改善した点等></p> <p>防災訓練や小戸地区大運動会では、自治会配布チラシに加えて、まちづくりのSNSを活用した呼掛けを行い、ボランティアを確保することができた。</p>							
地域協議会からの意見への対応		<p><地域協議会からの意見（令和4年3月・令和4年度事業計画）></p> <p>ボランティアの募集や育成方法について、他地区の取組や事例を参考にしつつ、人材確保に努め、よりよい事業としてください。</p> <p><意見への対応></p> <p>事業の参加者募集チラシに加えて、まちづくりのSNSを活用した呼掛けを行い、新たな協力者を確保することに努めた。</p>				対応	未 ・ 済		
		<p><地域協議会からの意見（令和4年3月・令和3年度実施報告）></p> <p>ボランティアの募集や育成方法について、他地区の取組も参考にしつつ、様々な情報発信手段や機会を通して担い手の確保に努めてください。</p> <p><意見への対応></p> <p>自治会配布チラシに加えて、まちづくりのSNSを活用した呼掛けを行い、新たな協力者を確保することに努めた。</p>				対応	未 ・ 済		

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

(様式第6号)

事業別収支計算書

小戸地域自治区
小戸まちづくり推進委員会

事業名	ボランティア育成事業
-----	------------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	5,204	(基礎交付金)
2	社会福祉協議会補助金	10,000	地域福祉基本事業費補助 地域ボランティアの育成
3	繰越金	0	
4	参加者負担金	0	
5	合計(A)	15,204	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	3,304	消耗品費 3,304 円 ・ 事務用紙 3,304
5	役務費	11,900	保険料 11,900 円 ・ ボランティア活動保険@350円×2人(追加分) 700 ・ ボランティア活動保険@350円×32人(次年度分) 11,200
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計(B)	15,204	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

事業名	小戸地区まつり事業	実施年数	2年目										
事業期間	開始：令和元年度	終了：なし											
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標 2.ふれあいのあるまち 三世代の交流を進めます。												
目的 (期待される効果)	地域住民が楽しみながら交流を深める。 自治会等と連携し、地域の活性化を図る。												
事業内容・手段	(1)小戸まつりの実施 会場 小戸小学校グラウンド 実施日 未定 内容 ステージイベント、出店 等 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。												
事業費	0円												
対象者	地域住民												
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td rowspan="3">中止</td> <td>約1,900人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>約100人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>約2,000人</td> </tr> </tbody> </table> <p>事業内容に応じて男女別や年代別データ 令和元年度は、小戸小100周年記念(小戸小・小戸小PTA主催)事業</p>			年度	令和2年度	令和元年度	一般参加者	中止	約1,900人	スタッフ	約100人	合計	約2,000人
年度	令和2年度	令和元年度											
一般参加者	中止	約1,900人											
スタッフ		約100人											
合計		約2,000人											
住民の声(アンケートの結果等)													

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握		A		広報	事業の周知		A	
	住民の参加		A			事業の効果	課題解決への作用		A
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性		A				住民の満足度		A
	各種団体との連携		A		事業継続の必要性		☑ ・ 無		
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和2年4月・令和2年度事業計画）> 前年度の事業とは、全体規模や内容が異なりますが、前年度の事業の検証結果を踏まえ、関係団体に必要な協力を求めながら、事業を進めてください。 <意見への対応> 事業中止となったため、今後、取り組んでいく。				対応	☑ ・ 済			
	<地域協議会からの意見（令和2年4月・令和元年度実施報告）> 関係団体との事業の検証結果を、次年度の取組に活かしてください。 <意見への対応> 事業中止となったため、今後、取り組んでいく。				対応	☑ ・ 済			

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会が出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『☑』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

(様式第7号)

事業別収支計算書

小戸地域自治区
小戸まちづくり推進委員会

事業名	小戸地区まつり事業
-----	-----------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	0	
2	社会福祉協議会補助金	0	
3	繰越金	0	
4	参加者負担金	0	
5	合計(A)	0	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費		
5	役務費		
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計(B)	0	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

[5] 健康づくりに係る事業

事業名	小戸地区大運動会事業	実施年数	9年目												
事業期間	開始：平成26年度	終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	<p>基本目標 2. ふれあいのあるまち 三世代の交流を進めます。</p>														
目的 (期待される効果)	<p>地域住民が楽しみながら健康増進を図り、コミュニケーションをとることで絆を深める。 子どもから高齢者まで一緒に競技をすることで、お互いを思いやり、助け合う心を育てる。 自治会と体育会が連携し、地域を盛り上げる。</p>														
事業内容・手段	<p>(1) 小戸地区大運動会の実施 会場 小戸小学校体育館 実施日 11月3日(木・祝) 内容 パン食い競争、お宝釣りゲーム、リレー、徒競走、段ボール転がし、玉入れ 他</p> <p>令和3年度より、小戸地区大運動会事業と小戸地区まつり事業を交互に開催。</p>														
事業費	237,428円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者(大人)</td> <td>113人</td> <td rowspan="4">中止</td> </tr> <tr> <td>一般参加者(小人)</td> <td>54人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>37人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>204人</td> </tr> </tbody> </table> <p>事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年度	令和4年度	令和3年度	一般参加者(大人)	113人	中止	一般参加者(小人)	54人	スタッフ	37人	合計	204人
年度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者(大人)	113人	中止													
一般参加者(小人)	54人														
スタッフ	37人														
合計	204人														
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で3年ぶりに開催できて、すごく楽しかった。 ・小戸音頭を地域の皆さんと一緒に踊ることができて良かった。 ・もっと沢山の自治会の人たちにも参加してもらいたい。 ・これからも半日開催でちょうどいい。 ・体育館であれば雨の心配をしなくていい。 														

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	B		事業後の参加者の声や反省会での意見を踏まえて、今年度も実施した。	広報	事業の周知	A		自治会加入者世帯へチラシの各戸配布を実施している。各自治会の掲示板を活用している。
	住民の参加	B		子ども達のイベント・習い事等増えていることから、今年度も子どもの参加はあまり多くなかった。		事業の効果	課題解決への作用	B	
効果的・効率的な取り組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A		三世代交流ができる絆づくりの行事として、メインとなる大きな行事だと考える。	事業の必要度		住民の満足度	A	
	各種団体との連携	A		今年度も、小戸地区体育会や、市きずなプロジェクトチームの参加、協力をいただいた。		事業継続の必要性		☑ ・ 無	
良かった点・改善点等		<p><良かった点や改善した点等> 今年度は、混み合う受付がスムーズに進むように改善した。 団分けと新型コロナウイルス感染対策を兼ねて、検温と消毒を済ませた参加者には、手首に紙製のリストバンドを付けてもらった。</p>							
地域協議会からの意見への対応		<p><地域協議会からの意見（令和 年 月・令和 年度）></p> <p><意見への対応></p>				対応		未・済	
		<p><地域協議会からの意見（令和 年 月・令和 年度）></p> <p><意見への対応></p>				対応		未・済	

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

(様式第6号)

事業別収支計算書

小戸地域自治区
小戸まちづくり推進委員会

事業名	小戸地区大運動会事業
-----	------------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	87,428	(基礎交付金)
2	社会福祉協議会補助金	0	
3	繰越金	150,000	
4	参加者負担金	0	
5	合計(A)	237,428	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	19,554	消耗品費 6,438 円 ・受付用紙製リスト、衛生用品等 6,438 食糧費 3,316 円 ・スタッフ用お茶48本 3,316 印刷製本費 9,800 円 ・チラシ印刷 9,800
5	役務費	30,544	通信運搬費 1,344 円 ・実行委員会文書等送付 1,344 保険料 29,200 円 大運動会参加者保険230人分(手数料込) 29,200
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費	187,330	備品購入費 187,330 円 ・かんたんテント(フレーム、天幕)2組 187,330
11	積立金		
12	合計(B)	237,428	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

事業名	体育会との連携事業	実施年数	13年目																										
事業期間	開始：平成22年度	終了：なし																											
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 2. ふれあいのあるまち 三世代の交流を進めます。																												
目的 (期待される効果)	住民同士の交流・健康増進の場とし、小戸体育会と共に地域のスポーツ振興を図る。																												
事業内容・手段	<p>(1) 子ども会対抗球技大会の実施 会場 小戸小学校グラウンド 実施日 7~8月頃 内容 未定 今年度は子ども会としての活動は休止。</p> <p>(2) 小戸地区ラジオ体操会の実施 会場 小戸小学校グラウンド 実施日 8月6日(土)</p> <p>(3) 小戸地区ミニバレー大会の実施 会場 小戸小学校体育館 実施日 8月7日(日)</p> <p>(4) 小戸地区ビーチボールバレー大会の実施 小戸地区ニュースポーツ大会に変更 会場 小戸小学校体育館 実施日 4月3日(木) 中止</p> <p>(5) 宮崎市駅伝大会のメンバーを募集 実施時期 11月~翌1月 内容 小中学生...小戸小学校と宮崎西中学校へ選手選出依頼 18歳以上...一般公募(各戸配布チラシにて) 18歳以上の申し込みがなく、個別に声掛けも行ったが、選手が見つからず、大会への参加を断念。</p> <p>(6) 宮崎市グラウンドゴルフ大会の出場依頼 上位1チーム(小戸さくら)が3月の市大会に出場。</p>																												
事業費	20,016円																												
対象者	地域住民																												
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="3">令和4年度</th> <th colspan="3">令和3年度</th> </tr> <tr> <th>ラジオ体操</th> <th>ミニバレー</th> <th>ニュースポーツ</th> <th>ラジオ体操</th> <th>ミニバレー</th> <th>ビーチボールバレー</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td rowspan="3">約 100 名</td> <td>26人</td> <td rowspan="3">なし</td> <td rowspan="3">中止</td> <td>31人</td> <td rowspan="3">なし</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>8人</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>34人</td> <td>41人</td> </tr> </tbody> </table> <p>事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年度	令和4年度			令和3年度			ラジオ体操	ミニバレー	ニュースポーツ	ラジオ体操	ミニバレー	ビーチボールバレー	一般参加者	約 100 名	26人	なし	中止	31人	なし	スタッフ	8人	10人	合計	34人	41人
年度	令和4年度				令和3年度																								
	ラジオ体操	ミニバレー	ニュースポーツ	ラジオ体操	ミニバレー	ビーチボールバレー																							
一般参加者	約 100 名	26人	なし	中止	31人	なし																							
スタッフ		8人			10人																								
合計		34人			41人																								
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人達と一緒に、朝のすがすがしい時間を過ごせてよかった。(ラジオ体操会) ・とても楽しかった。もっと沢山のの人に参加してもらいたい。(ミニバレー大会、グラウンドゴルフ大会) 																												

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	B	B	住民のニーズを把握する機会が、なかなか持てなかった。	広報	事業の周知	A	A	参加募集チラシへの反応は少ないものの、担当部会員の積極的な参加呼びかけで周知ができた。
	住民の参加	B	B	2年ぶりに開催されたラジオ体操会には多くの参加者があり良かった。		事業の効果	課題解決への作用	C	C
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	スポーツ人口を広げる為に、平成22年度から体育会と共催し、行っている事業である。	事業の必要		住民の満足度	B	B
	各種団体との連携	B	B	地区体育会と連携し、役割分担することで、スムーズな運営ができた。		事業継続の必要性		有 ・ 無	
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> ミニバレーボール大会では、検温や手指消毒等の感染予防対策を講じ、和気あいあいとしたプレーで楽しんでもらった。							
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・令和 年度）>						対応		未・済
	<意見への対応>						対応		未・済
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・令和 年度）>						対応		未・済
	<意見への対応>						対応		未・済

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

(様式第6号)

事業別収支計算書

小戸地域自治区
小戸まちづくり推進委員会

事業名	体育会との連携事業
-----	-----------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	20,016	(基礎交付金)
2	社会福祉協議会補助金	0	
3	繰越金	0	
4	参加者負担金	0	
5	合計(A)	20,016	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	13,466	消耗品費 10,442 円 ・上位入賞景品、フジ色紙等 10,442 食糧費 3,024 円 ・参加者お茶@63円×48本 3,024
5	役務費	6,550	保険料 6,550 円 ・参加者保険200人分(ﾗｼﾞｯﾀ体操) 5,600 ・参加者保険30人分(ﾐﾆﾊﾞﾚｰ)(手数料込) 950
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計(B)	20,016	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

事業名	歩こう会事業	実施年数	2年目								
事業期間	開始：令和3年度	終了：なし									
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標 2.ふれあいのあるまち 三世代の交流を進めます。										
目的 (期待される効果)	青少年育成協議会・中央西まちづくり推進委員会と共に、伝統ある「みんなで歩こう会」を盛り上げ、地域住民の交流や健康増進を図る。										
事業内容・手段	(1) 歩こう会の実施 会場 宮崎西地区交流センター北側 祇園運動公園(ここをスタート・ゴール地点とする) 祇園運動公園 大淀川学習館 祇園運動公園 実施日 11月23日(水・祝日) 9:00~12:00頃 雨でコースの安全が確保できない恐れがあるため中止。 内容 歩こう会(ウォーキング) 主催 宮崎市中央地区青少年育成協議会										
事業費	15,000円										
対象者	地域住民										
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td rowspan="3">中止</td> <td rowspan="3">中止</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> </tr> <tr> <td>合計</td> </tr> </tbody> </table> 事業内容に応じて男女別や年代別データ			年度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	中止	中止	スタッフ	合計
年度	令和4年度	令和3年度									
一般参加者	中止	中止									
スタッフ											
合計											
住民の声(アンケートの結果等)											

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握				広報	事業の周知			
	住民の参加					事業の効果	課題解決への作用		
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性						住民の満足度		
	各種団体との連携				事業継続の必要性				有 ・ 無
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等>							
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和4年3月・令和3年度実施報告）> 2年連続の中止となり実施できていませんが、共催する各団体と連携を図り、役割分担を明確にして事業を行ってください。					対応	未 ・ 済	
		<意見への対応> 事業中止となったため、今後、取り組んでいく。						未 ・ 済	
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和2年4月・令和2年度事業計画）> 関係団体と連携を図り、役割分担を明確にして事業を行ってください。					対応	未 ・ 済	
		<意見への対応> 事業中止となったため、今後、取り組んでいく。						未 ・ 済	

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

(様式第6号)

事業別収支計算書

小戸地域自治区
小戸まちづくり推進委員会

事業名	歩こう会事業
-----	--------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	15,000	(基礎交付金)
2	社会福祉協議会補助金	0	
3	繰越金	0	
4	参加者負担金	0	
5	合計(A)	15,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	15,000	消耗品費 15,000 円 ・歩こう会参加者景品@250円×60個分 15,000
5	役務費		
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計(B)	15,000	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

[6] 伝統文化に係る事業

事業名	しめ縄飾り体験事業	実施年数	13年目												
事業期間	開始：平成22年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>基本目標</p> <p>2. ふれあいのあるまち 三世代の交流を進めます。</p> <p>3. 地域力のあるまち 地域の伝統行事を地域にアピールします。</p>														
目的 (期待される効果)	日本の風習に触れる機会とし、三世代交流の場とすることで、地域住民同士の絆を深める。														
事業内容・手段	<p>(1) しめ縄飾り体験の実施</p> <p>会場 小戸小学校理科室 門松制作は正門前で行う。</p> <p>実施日 12月18日(日)9:00~13:00</p> <p>内容 しめ縄の飾りつけ体験、門松制作(1台)</p>														
事業費	101,990円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>21人</td> <td>22人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>10人</td> <td>14人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>31人</td> <td>36人</td> </tr> </tbody> </table> <p>事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	21人	22人	スタッフ	10人	14人	合計	31人	36人
年度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	21人	22人													
スタッフ	10人	14人													
合計	31人	36人													
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・このイベントがあって、ようやく新年を迎えられるような気がする。 ・今年も楽しく新年の準備ができた。 ・講師や同じテーブルの方にやさしく教えてもらえて可愛いしめ縄飾りができました。 ・私は中国人ですが、日本の文化に興味があり参加しました。 														

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度				本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	A	事業実施時にアンケート調査を行っている。	広報	事業の周知	A	A	自治会回覧時に、各戸配布でチラシを配布している。	
	住民の参加	A	A	親子と祖父母での参加があり、三世代交流もみられる。		事業の効果	課題解決への作用	A	A	しめ縄を飾る風習が減ってきている中、現代的なデザインを取り入れ、伝統文化に親しみやすい工夫をしている。
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	伝統文化に親しみ、毎年多くの方に参加してもらっている。	事業の満足度		住民の満足度	A	A	コロナ禍での開催ということで、必要な感染予防対策を取って、安心して参加していただけた。
	各種団体との連携	A	A	今年度も、部会員で門松を製作し小戸小に寄贈した。		事業継続の必要性		☑ ・ 無		
良かった点・改善点等		<p><良かった点や改善した点等> 参加者とスタッフの検温（体調確認）、マスクの着用、手洗いと手指の消毒など基本的な感染予防対策を徹底した。</p>								
地域協議会からの意見への対応		<p><地域協議会からの意見（令和 年 月・令和 年度）></p> <p><意見への対応></p>					対応	未・済		
		<p><地域協議会からの意見（令和 年 月・令和 年度）></p> <p><意見への対応></p>					対応	未・済		

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

(様式第6号)

事業別収支計算書

小戸地域自治区
小戸まちづくり推進委員会

事業名	しめ縄飾り体験事業
-----	-----------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	34,990	(基礎交付金)
2	社会福祉協議会補助金	0	
3	繰越金	50,000	
4	参加者負担金	17,000	しめ縄飾りつけ体験@500円×34個分
5	合計(A)	101,990	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費	8,000	講師謝礼 8,000 円 ・講師謝礼@1,000円×4人×2h 8,000
3	旅費		
4	需用費	69,500	消耗品費 69,500 円 ・しめ縄材料40セット 66,000 ・門松用材料(砂利、葉牡丹) 3,500
5	役務費	2,490	通信運搬費 1,260 円 ・受講票(ハガキ) 1,260 保険料 1,230 円 ・参加者保険40人分(手数料込) 1,230
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費	22,000	原材料費 22,000 円 ・門松材料一式(2m1段、飾り付) 22,000
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計(B)	101,990	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

[7] 地域教育に係る事業

事業名	小戸小との連携事業	実施年数	11年目																				
事業期間	開始：平成24年度	終了：なし																					
地域魅力発信プランとの関連	<p>基本目標</p> <p>1. 安心安全に暮らせるまち 地域全体で要配慮者の支援を考えます。</p> <p>2. ふれあいのあるまち 三世代の交流を進めます。</p> <p>3. 地域力のあるまち まちづくりを担う人材の発掘と育成に努めます。</p>																						
目的 (期待される効果)	<p>地域住民が各学年の授業に参加・支援することで、「地域の子どもは地域で育てる」という意識を高め、地域と学校との連携を深める。 PTAとの連携を図り、小学校を中心に地域を活性化する。</p>																						
事業内容・手段	<p>(1) 「共に生きよう みんな仲間」地域の方の講話(6年生) 会場 小戸小耕心室 小戸小体育館 実施日 6月10日(金)</p> <p>(2) ハトガ会議(小戸小職員と民生委員児童委員による情報交換) 会場 小戸小 実施日 6月8日(水)</p> <p>(3) 「共に生きよう みんな仲間」認知症サポーター養成講座(6年生) 会場 小戸小6年生教室 実施日 10月31日(月)</p> <p>(4) 小戸小バザーでの「まち推ブース」の設置 会場 小戸小 実施日 未定 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。</p> <p>(5) 「共に生きよう みんな仲間」高齢者施設訪問(6年生) 会場 主に小戸地域の高齢者施設 実施日 未定 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。</p> <p>(6) 「共に生きよう みんな仲間」まとめの発表会(6年生) 会場 小戸小体育館 実施日 2月頃 中止</p> <p>(7) 「共に生きよう みんな仲間」福祉啓発リーフレット作成(6年生) 実施日 3月 中止 新型コロナウイルス感染症拡大を受け、グループ学習ができなかったため、各自で気づいたことや分かったことをプリントにまとめるにとどめた。</p> <p>(8) 小戸音頭の踊り(振り付け)指導(6年生) 実施日 9月12日(月)、9月15日(木)</p>																						
事業費	13,450円																						
対象者	小戸小児童、まち推委員(自治会長、民生委員児童委員、福祉協力員)、地縁団体、地域住民																						
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年 度</th> <th colspan="2">令和4年度</th> <th colspan="2">令和3年度</th> </tr> <tr> <th>認知症学習</th> <th>バザー</th> <th>認知症学習</th> <th>バザー</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童(延べ人数)</td> <td>約200人</td> <td rowspan="3">中止</td> <td>約270人</td> <td rowspan="3">中止</td> </tr> <tr> <td>スタッフ(延べ人数)</td> <td>約10人</td> <td>約5人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>約210人</td> <td>約275人</td> </tr> </tbody> </table> <p>事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和4年度		令和3年度		認知症学習	バザー	認知症学習	バザー	児童(延べ人数)	約200人	中止	約270人	中止	スタッフ(延べ人数)	約10人	約5人	合 計	約210人	約275人
年 度	令和4年度		令和3年度																				
	認知症学習	バザー	認知症学習	バザー																			
児童(延べ人数)	約200人	中止	約270人	中止																			
スタッフ(延べ人数)	約10人		約5人																				
合 計	約210人		約275人																				
住民の声(アンケートの結果等)	<p>・学習を通じて、認知症の発症の仕組みや症状、認知症の方への対応方法を理解することができました。(児童)</p>																						

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	A	どの点において協力(学習支援)が必要かなど、小戸小に確認を取りながら行っている。	広報	事業の周知			
	住民の参加						事業の効果	課題解決への作用	A
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	地域の方々が学習支援に参加できる場が減ってきており、取り組みを見直す必要も出てきている。		住民の満足度			
	各種団体との連携				事業継続の必要性				○ ・ 無
良かった点・改善点等	<p><良かった点や改善した点等></p> <p>これまでの学習を振り返り、児童がそれぞれ気付いたことや分かったことをまとめたプリントを作成しました。6年生が学んだことを、5年生に引き継ぎ、来年度に活かして欲しい。</p>								
地域協議会からの意見への対応	<p><地域協議会からの意見（令和4年3月・令和4年度事業計画）></p> <p>小戸まちづくり推進委員会と小戸小・PTAとの共催事業になりますので、事業の目的を共有し、お互いの役割分担を明確にして、児童がより地域に愛着をもてるよう協力して事業を行ってください。</p> <p><意見への対応></p> <p>小戸小・PTAと連携を図り、役割分担を明確にして事業を行っていく。</p>				対応	未 ・ ○			
	<p><地域協議会からの意見（令和4年3月・令和3年度実施報告）></p> <p>小戸まちづくり推進委員会と小戸小・PTAとの共催事業になりますので、事業の目的を共有し、お互いの役割分担を明確にして、協力して事業を行ってください。</p> <p><意見への対応></p> <p>小戸小・PTAと連携を図り、役割分担を明確にして事業を行っていく。</p>				対応	未 ・ ○			

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『○』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

(様式第6号)

事業別収支計算書

小戸地域自治区
小戸まちづくり推進委員会

事業名	小戸小との連携事業
-----	-----------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	0	(基礎交付金)
2	社会福祉協議会補助金	0	※地域福祉基本事業費補助 子育て支援活動の推進
3	繰越金	13,450	
4	参加者負担金	0	
5	合計(A)	13,450	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	13,450	消耗品費 13,450 円 ・不織布はっぴ@230円×58枚分+手数料 13,450
5	役員費		
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計(B)	13,450	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

[8] その他の事業

事業名	まちづくり広報事業	実施年数	12年目												
事業期間	開始：平成23年度	終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連															
目的 (期待される効果)	本会の活動状況や福祉情報を地域住民や関係団体へ発信し、周知を図る。														
事業内容・手段	<p>(1) 広報紙「まち推だより」の発行 第26号(令和4年7月配布)3,500部 第27号(令和5年3月配布)3,500部</p> <p>(2) SNSを活用した広報活動 SNS(Facebook、LINE)を活用し、若い世代をはじめとする幅広い年齢層への情報周知に努めた。 Facebookフォロワー 87人 LINE友だち登録数 96人</p>														
事業費	347,160円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年度	令和4年度	令和3年度	一般参加者			スタッフ			合計		
年度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者															
スタッフ															
合計															
住民の声(アンケートの結果等)															

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握				広報	事業の周知	B	B	紙媒体だけではなく、まちづくりのSNSを活用した情報発信を行っている。
	住民の参加					事業の効果	課題解決への作用	B	B
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	住民がまちづくりの活動に参加するきっかけになるように、今後も積極的にまち推の活動を広めていきたい。			住民の満足度		
	各種団体との連携				事業継続の必要性				有 ・ 無
良かった点・改善点等	< 良かった点や改善した点等 > SNS (LINE、Facebook) を活用し、子育て世代や若者にまち推の活動を広めていくことができると思う。								
地域協議会からの意見への対応	< 地域協議会からの意見 (令和 年 月・令和 年度) >						対応	未 ・ 済	
	< 意見への対応 >							対応	未 ・ 済
地域協議会からの意見への対応	< 地域協議会からの意見 (令和 年 月・令和 年度) >						対応		未 ・ 済
	< 意見への対応 >							対応	未 ・ 済

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

(様式第6号)

事業別収支計算書

小戸地域自治区
小戸まちづくり推進委員会

事業名	まちづくり広報事業
-----	-----------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	54,026	(基礎交付金)
2	社会福祉協議会補助金	193,134	地域福祉活動実践事業費補助 福祉啓発
3	繰越金	100,000	
4	参加者負担金	0	
5	合計(A)	347,160	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	347,160	印刷製本費 347,160 円 ・まち推だより26、27号 各3,500部 347,160
5	役務費		
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計(B)	347,160	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

事業名	まちづくり活動支援事業	実施年数	11年目																				
事業期間	開始：平成24年度	終了：なし																					
地域魅力発信 プランとの関連																							
目的 (期待される効果)	事務局運営、およびまちづくり事業・自治会活動をスムーズに運営できるよう、車のリース等を行う。																						
事業内容・手段	(1) 車両のリース まち推運営・事業、地域や自治会活動等で使用のため。 (2) まちづくり備品の点検および修理・修繕 (3) 地域団体への車両および備品貸し出し (4) 小戸音頭を活用したまちづくりの推進 小戸音頭振付講習会の実施 日 時 10月13日(木) 10月27日(木) 場 所 小戸地域開放ふれあい会議室 参加者数 19名 14名 (5) 事務局の円滑な運営																						
事業費	953,882円																						
対象者	地域住民																						
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年 度</th> <th colspan="2">令和4年度</th> <th colspan="2">令和3年度</th> </tr> <tr> <th>小戸音頭</th> <th>備品貸し出し</th> <th>小戸音頭</th> <th>備品貸し出し</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>25人</td> <td rowspan="3">11回</td> <td></td> <td rowspan="3">5回</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>8人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>33人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 事業内容に応じて男女別や年代別データ			年 度	令和4年度		令和3年度		小戸音頭	備品貸し出し	小戸音頭	備品貸し出し	一般参加者	25人	11回		5回	スタッフ	8人		合計	33人	
年 度	令和4年度		令和3年度																				
	小戸音頭	備品貸し出し	小戸音頭	備品貸し出し																			
一般参加者	25人	11回		5回																			
スタッフ	8人																						
合計	33人																						
住民の声(アンケートの結果等)																							

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握				広報	事業の周知	B	B	今後も、自治会だけでなく、子ども会等にもリース車両やその他備品を活用していただけるよう積極的な周知が必要である。
	住民の参加						事業の効果	課題解決への作用	
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	「まちづくり推進委員会」と明記してある車両を、自治会活動等に利用されることで、まち推のPRにも繋がる。		住民の満足度			
	各種団体との連携				事業継続の必要性		有 ・ 無		
良かった点・改善点等		<p><良かった点や改善した点等></p> <p>コロナ禍で、備品の利用は少なかったが、今後も地域で有効に備品が活用されるように周知していく。小戸音頭の振付講習会には、地域からの参加者があり、小戸音頭を地域に根付くよう努める。</p>							
地域協議会からの意見への対応	<p><地域協議会からの意見（令和 年 月・令和 年度）></p> <p><意見への対応></p>						対応	未 ・ 済	
	<p><地域協議会からの意見（令和 年 月・令和 年度）></p> <p><意見への対応></p>						対応	未 ・ 済	

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

(様式第6号)

事業別収支計算書

小戸地域自治区
小戸まちづくり推進委員会

事業名	まちづくり活動支援事業
-----	-------------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	682,735	(基礎交付金)
2	社会福祉協議会補助金	0	
3	繰越金	271,147	
4	参加者負担金	0	
5	合計(A)	953,882	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費	6,000	報償費 <u>6,000</u> 円 ・小戸音頭振付講習会講師@3,000円×2人 6,000
3	旅費		
4	需用費	327,195	消耗品費 <u>252,732</u> 円 ・用紙、トナーカートリッジ等事務用品、LANケーブル 252,732 燃料費 <u>13,891</u> 円 ・リ-車両給油 85.4 13,891 食糧費 <u>17,232</u> 円 ・会議用お茶等 17,232 印刷製本費 <u>43,340</u> 円 ・封筒(角2、長3)印刷 32,780 ・名刺印刷 10,560
5	役務費	149,438	通信運搬費 <u>146,984</u> 円 ・事務局電話・インターネット・スマートフォン 113,564 ・総会・部会の議事録等送付 33,420 保険料 <u>1,230</u> 円 ・小戸音頭振付講習会参加者保険×2回 1,230 手数料 <u>1,224</u> 円 ・事務局スマートフォン所在証明書交付等 1,224
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	417,340	使用料及び賃借料 <u>417,340</u> 円 ・車両リース 12ヶ月(手数料込) 374,220 ・プリンタリース 7ヶ月(手数料込) 43,120
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費	53,909	備品購入費 <u>53,909</u> 円 ・事務局スマートフォン、7ヶ机等 53,909
11	積立金		
12	合計(B)	953,882	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第7号)

積立金管理状況報告書

小戸地域自治区
小戸まちづくり推進委員会

積立金名称	災害積立基金
-------	--------

積立金の収支 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	前年度までの積立額	2,959,620	総積立額 4,000,000円
2	積立額	0	令和元年度で積立終了
3	取崩額	1,242,835	
4	合計	1,716,785	

積立金名称	
-------	--

積立金の収支 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	前年度までの積立額		
2	積立額		
3	取崩額		
4	合計	0	

積立金名称	
-------	--

積立金の収支 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	前年度までの積立額		
2	積立額		
3	取崩額		
4	合計	0	

(様式第9号)

宮崎市地域コミュニティ活動交付金繰越届出書

令和5年 4月20日

宮 崎 市 長 殿

主たる事務所の所在地 宮崎市鶴島2丁目18番23号

名 称 小戸まちづくり推進委員会

代表者の氏名 会長 西山 久介 印

電 話 番 号 71 - 4583

令和4年3月31日付けで交付決定のありました地域コミュニティ活動交付金については、決算において1,267,561円の残金があり、繰越金として次年度の会計へ繰り越しますので届け出ます。

繰 越 金 内 訳

基礎交付金 1,267,561円

特例交付金 0円

添 付 書 類

令和4年度収支決算書

令和4年度 小戸まちづくり推進委員会への意見書 [事業実施報告]

小戸地域自治区地域協議会
会長 中川 洋一

令和4年度の小戸地域自治区の地域まちづくり事業実施報告及び収支決算について、事業計画及び収支予算に沿って適正に執行されていきましたので、承認いたします。なお、承認に際し、下記の意見がありましたので、対応を検討いただきますようお願いいたします。

記

1 総括

コロナ禍も3年目となり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止せざるを得ない事業が多い状況の中、必要な感染防止対策を行いながらの小戸地区大運動会の開催など適正に事業を運営できたと思います。

2 事業の推進体制

特にありません。

3 各事業への意見 (意見のある事業のみ記載)

事業名	意見
歩こう会事業	・ 青少年育成協議会及び中央西まちづくり推進委員会との共催事業になりますので、連携を図り、役割分担を明確にして事業を行ってください。【再掲】

4 その他